

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称 施策I-5-2
人材の育成・定着

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

雇用政策課長 田中 麻里

電話番号

0852-22-5296

事務事業の名称	在職者の職業訓練事業	
目的	(1) 対象	在職労働者
	(2) 意図	職業能力や技能の向上を図る
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員等の職業能力の開発及び向上を図るため、認定職業訓練校に対して運営費や設備経費の一部を補助。 ・高度な技能の習得及び中小企業の人材育成を支援するため、中小企業従業員に対し、産業人材スキルアップセミナー、技能伝承のための訓練コースを実施。 	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 認定訓練校における訓練生数	目標値		1,000.0	1,000.0	1,000.0	1,000.0	人
		取組目標値						
	式・定義 認定訓練校における訓練生数	実績値	780.0	856.0				
		達成率	-	85.6	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	50,535	55,904
うち一般財源 (千円)	23,576	27,780

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

<ul style="list-style-type: none"> ・認定職業訓練施設 8施設 99コース 856人 ・産業人スキルアップセミナー 17コース 213人 ・技能伝承人材育成事業 2コース 10人 ・実践型人材養成システム 3コース 43人
--

6. 成果があったこと (改善されたこと)

<p>在職者の能力向上の訓練や、貴重な技能を継承していくための訓練コースが開設され、職業能力の向上が図られた。</p>

7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

<p>①困っている「状況」 技能職の人材確保が困難な状況が続いており、熟練技能の継承が困難なこと</p>
<p>②困っている状況が発生している「原因」 団塊世代の退職、景気回復により業務量が増加したことによる人手不足</p>
<p>③原因を解消するための「課題」 企業内OJTで新規採用者や熟練技能等を指導する余裕がなく、在職者の能力向上に課題を抱える企業が存在し、それに対する支援が必要</p>

8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズ把握に努め、各企業で実施することが困難な能力開発について、高等技術校で在職者訓練コースの設定を検討し、技能検定等を通じた技能者の育成や伝統技能の継承を進め、地域産業の発展につながる人材を育成していく。
--